

神奈川労務安全衛生協会小田原支部 入会のご案内

(公社) 神奈川労務安全衛生協会 小田原支部

第14次労働災害防止計画（以下14次防）は令和7年で3年目を迎えます。コロナ禍で翻弄された13次防でしたが、それ以前から危惧されていたのは「少子高齢化社会の進展とその影響」でした。それが14次防の中で現実問題として顕在化しています。現在、増加に転じている労働災害（4日以上以上の休業災害）における重要課題は高年齢労働者の行動災害（転倒、腰痛等）の削減に絞られてきました。

この課題解決には、個人の生活習慣の改善から就労環境の改善まで、幅広く対応していく必要があります。まさに「社会環境をエイジフレンドリー」に変えていくという課題です。

労働災害防止の取り組みは、事業者による安全衛生管理体制のもと災害防止意識を醸成し、従業員の行動変容につなげていくことが重要と言われてきました。14次防の中では、その取り組みを「法令順守型から自律的な管理へ」というメッセージのもと、事業者自身の采配に基づく具体的施策の実行を求める目標に転換しています。

そして、エイジフレンドリーの課題は、我々一人一人が、自身の「安全と健康」を自覚し、改善行動につなげるという「原点」に向かっています。

神奈川労務安全衛生協会 小田原支部では各事業場の安全衛生教育講習を中心に「事業者&個人」の「知識／行動変容」につなげるに講習機会を企画していきます。

コロナ禍で導入した「オンラインセミナー、オンデマンドセミナー」などITを活用した講習スタイル、情報発信も継続していきます。（別紙 最新の企画セミナー参照）
是非、ご入会いただき各種サービスをご活用いただきますようご案内いたします。

<添付資料>

- ・ (公社) 神奈川労務安全衛生協会 小田原支部のご案内
- ・ (公社) 神奈川労務安全衛生協会（本部）のご案内
- ・ 令和7年度 神奈川労務安全衛生協会小田原支部 開催講習会一覧
- ・ 令和7年度 神奈川労務安全衛生協会小田原支部 主要行事一覧表
- ・ 会費に関する細則
- ・ 入会届

お申込み 問い合わせ先

小田原支部 電話 0465-24-1753 事務局長 鎌田

入会手続き 申込み用紙（添付入会届）を支部へ郵送

〒250-0012 小田原市本町 2-3-24 青色会館 2階

(公社) 神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 宛

(申込み用紙：支部ホームページからも入手可能)

<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/odawara/index.html>

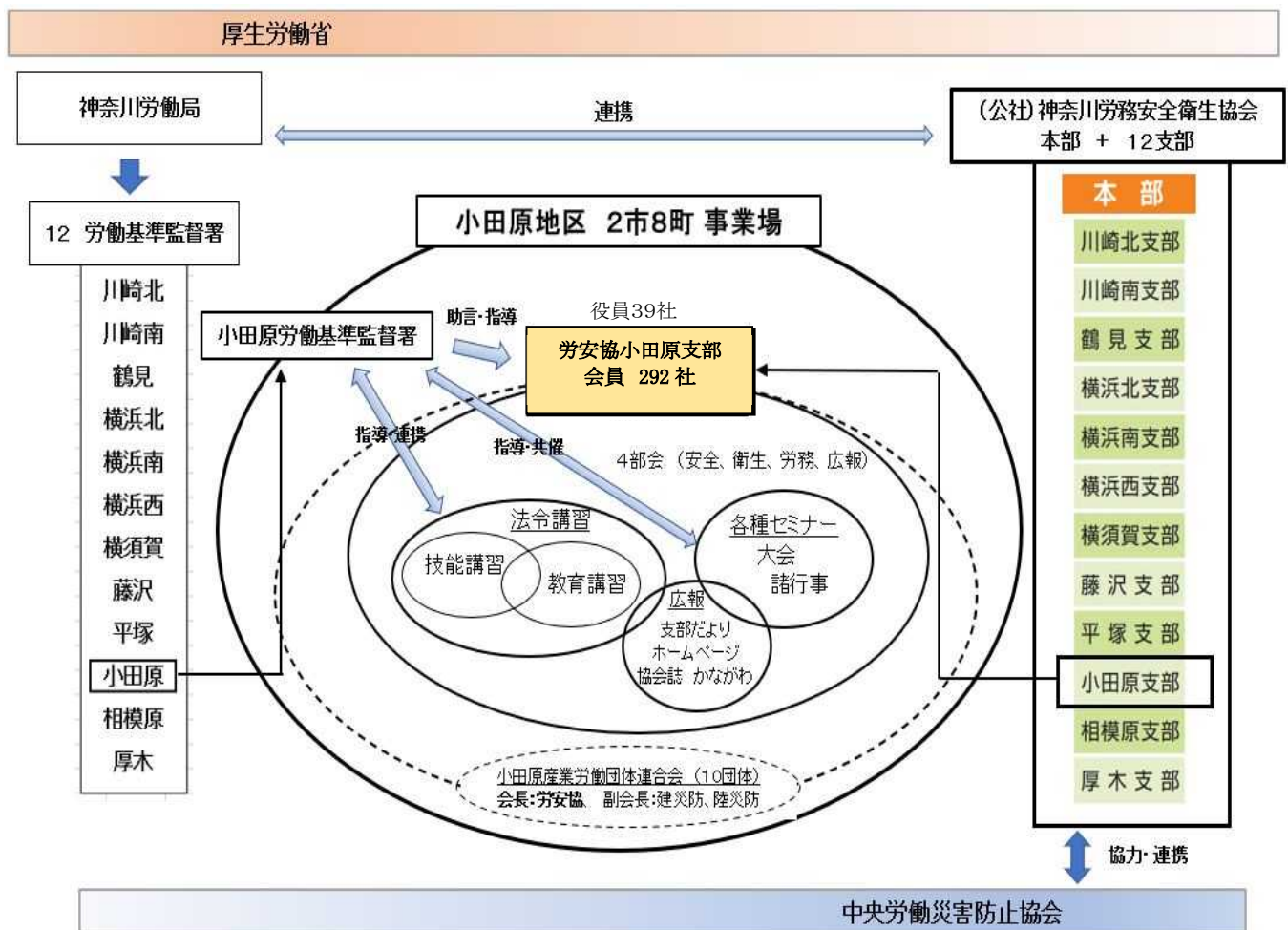
(公社)神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 ご案内



神奈川労務安全衛生協会は昭和22年に民間で発足し、その後、**横浜本部**と**県内12支部**で構成された神奈川県知事認定 公益社団法人として発展してきました。**小田原支部**は**県西2市8町**の事業場を会員として事業活動する支部となっています。

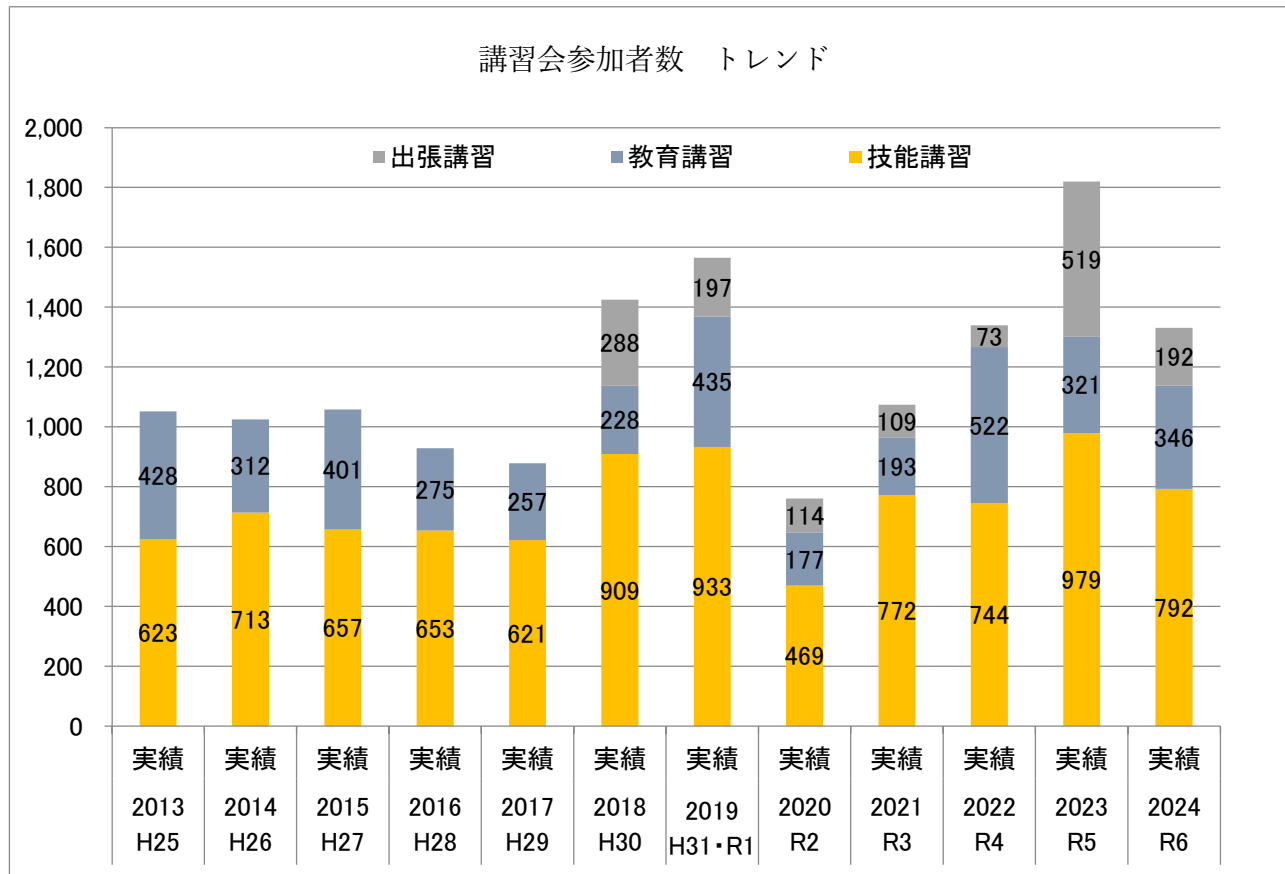
小田原支部の事業目的は

小田原支部を取り巻く行政や各産業団体との関係を以下に示しました。小田原支部の事業目的は地域の労働行政や産業団体と連携し「**事業場における適正な労働条件の確保、労働災害の防止、健康保持増進のための活動を促進し、労働福祉の向上と産業の健全な発展に寄与する**」ことにあります。



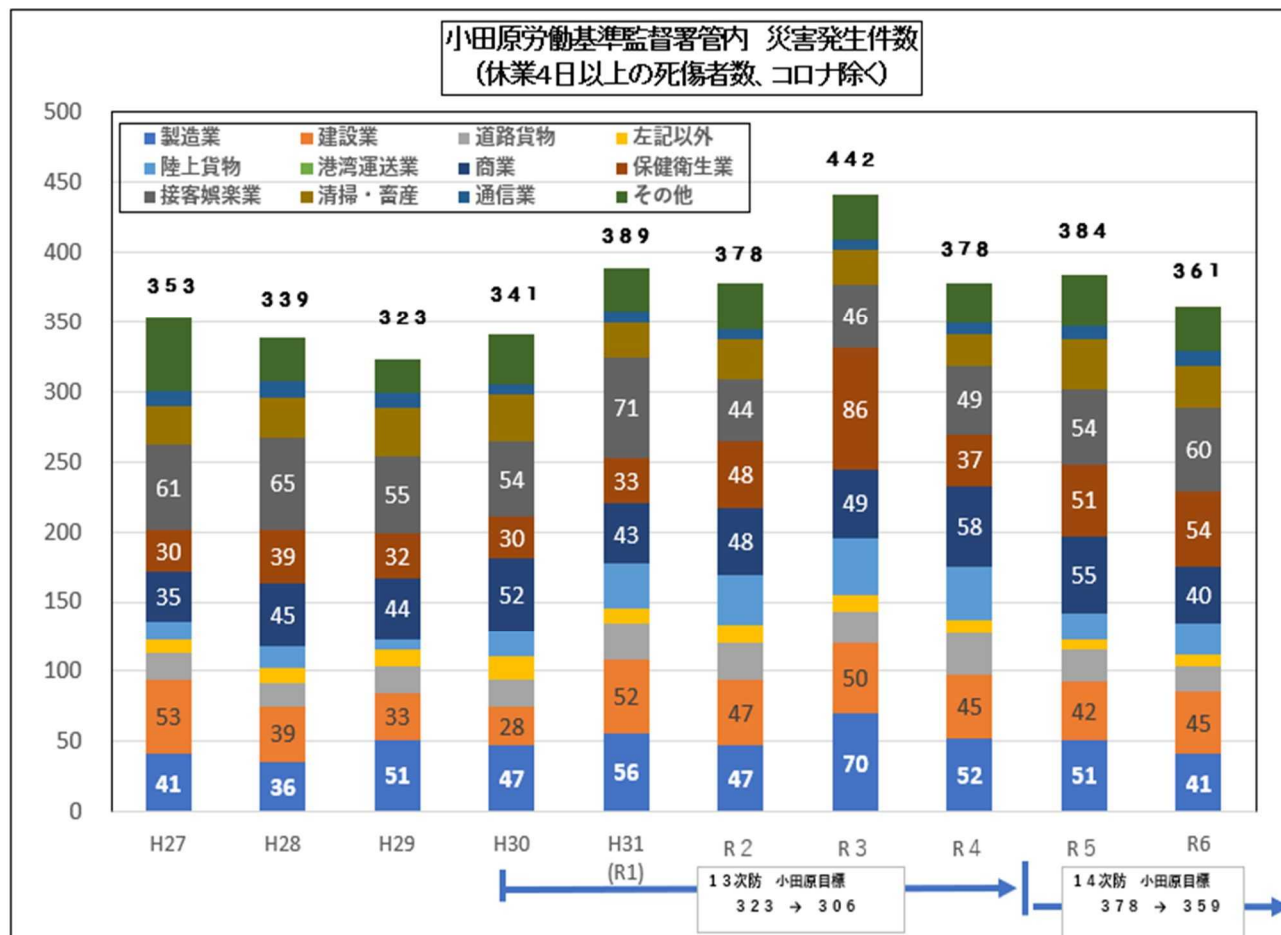
具体的活動内容は

- 行政方針・施策の地域展開支援** …… **教育講習会**の企画・開催（R6年度実績 13回／354名）
 全国安全週間推進大会、全国労働衛生週間推進大会など第14次労働災害防止計画における行政施策の啓発活動、法令改正などの労務管理・法令講習会、メンタルヘルス、健康保持増進に関する衛生講習会、経営者啓発の場としての経営者セミナーなど、幅広く教育セミナーを企画・実施しています。
- 技能講習の実施** …… **技能講習／特別教育**の企画・開催（R6年度実績 42回／803名）
 神奈川労働局登録講習機関として各種資格取得講習、事業者にとって従業員への特別教育など幅広く技能講習を実施しています。ご要望に応じて、出張講習にも応じています。
- 出張講習の実施** …… **技能講習／特別教育**の出張講習（R6年度実績 5回／192名）
 会員の要望に応じた講習内容を、直接事業所に講師を派遣し現場で実施する出張講習を実施しています。特に、法改正に伴い整備が急務となる「法令講習」の一括受講などのニーズに応えています。
- 労働環境の変化や経営リスクをテーマ化したセミナー開催**
 自然災害リスクの高まりを捉えた「防災・BCP講習会」、「高年齢労働者」の安全衛生をテーマとしたエイジフレンドリー対応企画、化学物質管理の自立的な管理講習…等々、社会変化に伴う課題を捉えた新規講習会を企画しています。また、支部部会によるアンケートなどに基づくセミナーを企画しています。



現状認識： 増加に転じた労働災害

下のグラフは過去10年間の小田原労働基準監督署管内で発生した労働災害の発生トレンドです。現状は第13次労働災害防止計画における労災削減目標と大きく乖離し増加に転じています。これは全国も同じ傾向となっています。



激変する就労環境、労働災害の増加に対応した安全活動は

働き方改革、高齢労働者の増加、コロナ禍、オンライン会議やリモートワークの進展・・・等々、就労環境が激変する中、労働災害が増加に転じ更に増える懸念が見て取れます。これらの現状を踏まえた、これからの取り組みが「第14次労働災害防止推進計画」となります。令和5年度を初年度としてその指針・目標に従った活動を展開することになります。

事業者求められる「自立的安全衛生対策の促進」

このような労働災害発生状況を踏まえ、第14次労働災害防止計画の骨子には災害増加が顕著な中小企業に対し「事業主による自発的な取り組みを強化する内容」が織り込まれています。また、具体的対応施策実施指標(アウトプット指標)と達成結果指標(アウトカム指標)の2つの指標を設けることで対策の実行性を高め、その効果を検証する目標設定に転換しています。

小田原支部が重点化する災害防止教育 ・・「職長教育」

現場の安全の要は「職長」と言われています。職長を取り巻く就労環境が大きく変わる中、職長に必要とされる「情報・知識・スキル」も変化しています。また、職長教育対象業種が食料品製造業や印刷物加工業等に拡大する法令改正を受け、小田原支部では職長教育に最新の行政情報やスキルを織り込む内容にリニューアルしました。令和2年3月31日「製造業における職長等に対する能力向上教育について」(基発0331 第7号)の通達を受け、令和3年度に新設した「職長の能力向上教育」のプログラムと合わせて重点実施講習会として会員の皆様の受講を促進していきます。

小田原支部が提供する新たなサービス

就労環境は刻々変化しそのスピードも速まっています。今後、これらの新しい情報や教育の機会をタイムリーに提供できる環境が求められ、それらはITを活用することで実現できる時代に入っています。

コロナ禍対応として企画した「オンライン講習、オンラインセミナー、オンデマンド配信セミナー」はその利便性から大変好評でした。新たな会員サービスとして拡充させていただきます。

以下、新たなサービスの実施状況を整理しました。

1. オンライン配信企画の促進（オンラインライブ、オンデマンド配信企画の拡充）

- ・ 全国安全週間小田原地区推進大会（リアル&ライブ配信、オンデマンド配信）
 - 令和3年度 特別講演 テーマ 『 労働災害の現状と課題 』
 - 令和4年度 特別講演 テーマ 『 今日からできる転倒・腰痛対策 』
 - 令和5年度 特別講演 テーマ 『 ストレスを軽くする「ものの見方・考え方」 』
 - 令和6年度 特別講演 テーマ 『 ゼロ災運動のこれから ～Beyond Zero 』
- ・ 全国衛生週間小田原地区推進大会（オンデマンド配信）
 - 令和3年度 特別講演 テーマ 『 心を調えるマインドフルネス入門 』
 - 令和4年度 特別講演 テーマ 『 健康寿命を延ばす食生活 』
 - 令和5年度 特別講演 テーマ 『 「人生100年時代 自分の身体を知ってセルフメンテナンス」 』
 - 令和6年度 特別講演 テーマ 『 ポジティブ・メンタルヘルス ～前向きに元気に働く～ 』
- ・ 防災・BCP講習会（オンデマンド配信）
 - 令和3年度 『 神奈川県西地域における防災の取り組みについて 』
 - 『 事業継続に向けた企業の備え、取り組み(BCP)について 』
- ・ 経営者セミナー（リアル&オンデマンド配信）
 - 令和3年度 特別講演 テーマ 『 ナッジで人を動かす 』
 - 令和4年度 特別講演 テーマ 『 まちおこしは総力戦で挑め！ 』
 - 令和5年度 特別講演 テーマ 『 「激闘！ 関東三国志」 ～ 戦国時代に見るリーダー像 ～ 』
 - 令和6年度 特別講演 テーマ 『 グレートジャーニー ～ 地球を這って感じたこと、考えたこと ～ 』

2. 技能講習、教育講習のオンライン講習／セミナー

- ・ 新入社安全衛生教育（オンライン講習） 令和3、4、5、6年度 4回
- ・ 有機溶剤業務従事者に対する労働衛生教育（オンライン講習） 令和3、4、5、6年度 12回
- ・ 健康保持増進オンラインセミナー（無料リアル＆オンラインセミナー）
 - 令和3年度 テーマ：『コロナ禍でのメンタルヘルスマネジメント』
 - 令和4年度 テーマ：『腰痛対策について』
 - 令和5年度 テーマ：『転倒予防に役立つからだの使い方と作り方』
～ プロから学ぶ、自己チェックと対策 ～
テーマ：『快適睡眠の実践』
～ 人生100年時代、健康寿命につながる睡眠とは ～
 - 令和6年度 テーマ『新しい健康づくりのための身体活動・運動基準の概要と活用のポイント』
～ 日常生活における運動の工夫 ～
テーマ：『ストレスチェック制度の効果的な実施と結果の活用について』
～ 働きやすい元気な職場をつくるために ～
- ・ 法令手続き講習会（オンデマンド配信）
 - 令和3、4、5、6年度 『労働基準監督署からの法改正・手続き解説』
- ・ 労務管理・法令オンラインセミナー（無料オンラインセミナー）
 - 令和3年度 テーマ：『職場におけるハラスメント対策について』
- ・ 労務管理・法令オンラインセミナー（支部連共催 オンデマンド配信）
 - 令和4年度 テーマ：『化学物質管理の大転換』

3. 法令改正にタイムリーに対応した「資格講習 地域開催」の実現

- ・ 金属アーク溶接等で発生する「溶接ヒューム」に対応した「特定化学物質作業主任者資格講習会」の開催。（小田原地域開催）、
- ・ 「フルハーネス型墜落制止用器具特別教育」、「化学物質管理責任者選任研修」、「保護具着用管理責任者選任研修」、テールゲートリフター特別教育・・・等々、法改正に対応した講習会をタイムリーに企画・実施しています。

4. 個別 出張講習会、個別 オンライン講習会の実施

事業場での複数名の受講者に対応した講師派遣リアル講習会（出張講習会）に加え、会員ニーズに応じ個別オンライン講習会等のサービスを開始しています。

以上、小田原支部の事業運営についての概要となります。以下のホームページで発信していますので、是非ご覧ください。

<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/odawara/>

<問い合わせ>

（公社）神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 小田原市本町 2-3-24 青色会館 2階
TEL 0465-24-1753 FAX 0465-24-5820 事務局長 鎌田



神奈川労務安全衛生協会は 何の業種でも、何人からでも会員に!!

▼ ご入会いただくと次のようなメリットがあります。

1 より早く的確に情報が把握できます

- ・毎月、ホットな情報満載の機関誌「労務安全衛生かながわ」が送付されます
- ・ホームページ内の会員サイトで行政情報などのお役立ち情報が入手できます

2 技能講習・特別教育・各種講習会が会員価格で受講できます

- ・技能講習はテキスト代金を協会が一部負担します
- ・特別教育・各種講習会を会員価格で受講できます

3 より早く計画的な教育訓練の実施が可能となります

- ・毎月、「開催講習会等のご案内」、「セミナーのご案内」が送付されます
- ・講習会費のお支払予定日の確認をもって受講申込が完了し、ご受講いただけます

4 地域の会員事業場との情報交換や連携が身近なものとなります

- ・総会・労務安全衛生大会・各種部会を通じて情報交換や連携いただけます

5 労災上乗せ保険の保険料が割安になる団体契約の保険に加入できます

- ・保険料について約68%の割引が適用されます

※ご入会手続き

まず、ご連絡をお願いします。

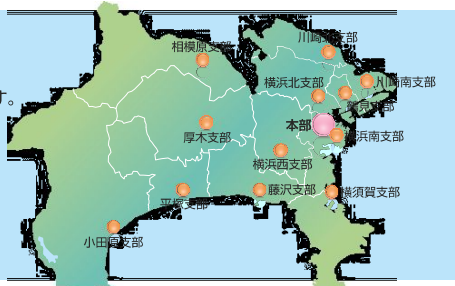
- ①下記の支部へお電話ください。入会案内を送付いたします。
- ②本部ホームページからも入会申込書が入手できます。

<https://www.roaneikyo.or.jp>

神奈川労務安全

検索

年間の会費は支部ごとに若干相違がありますので、当該支部にお問い合わせください。



協会のご案内



本 部 〒231-8443 横浜市中区相生町 3-63 ヤオマサビル 電話 045-662-5965 / FAX 045-201-7122

支 部 名	所 在 地	電 話	管 内 区 域
川崎北支部	〒213-0002 川崎市高津区二子 5-2-5 第1井上ビル 2階C号室	044-850-8621	川崎市中区・高津区・宮前区・多摩区・麻生区
川崎南支部	〒210-0002 川崎市川崎区榎町 5-13 小林ビル 101号室	044-221-9082	川崎市川崎区・幸区
鶴見支部	〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 3-26-4 鶴見商工会館内2階	045-503-0017	横浜市鶴見区
横浜北支部	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-5-4 京浜建物第2ビル 701	045-474-1821	横浜市神奈川区・港北区・西区・緑区・都筑区・青葉区
横浜南支部	〒231-0011 横浜市中区太田町 1-20 三和ビル 4階C号室	045-651-4701	横浜市中区・南区・磯子区・金沢区・港南区
横浜西支部	〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町 631 元町清水ビル 203	045-864-5354	横浜市戸塚区・保土ヶ谷区・旭区・瀬谷区・栄区・泉区
横須賀支部	〒237-0061 横須賀市夏島町 19 住友重機械工業株式会社横須賀製造所内第二本館2階	046-845-9522	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡
藤沢支部	〒251-0054 藤沢市朝日町 5-7 藤沢市建設会館3階	0466-26-1991	藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・高座郡
平塚支部	〒254-0035 平塚市宮の前 3-13-201	0463-74-6401	平塚市・秦野市・伊勢原市・中部
小田原支部	〒250-0012 小田原市本町 2-3-24 青色会館2階	0465-24-1753	小田原市・南足柄市・足柄上郡・足柄下郡
相模原支部	〒252-0239 相模原市中央区中央 3-8-8 桐生ビル2階	042-751-9396	相模原市
厚木支部	〒243-0018 厚木市中町 3丁目1-7 中三ビル5階504号室	046-259-8118	厚木市・大和市・座間市・海老名市・綾瀬市・愛甲郡



公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会



公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会

<https://www.roaneikyo.or.jp>





神奈川労務安全衛生協会は こんな団体です

公益社団法人として 活動しています

当協会は、昭和22年に民間で発足をし、現在神奈川県知事認定の公益社団法人として、事業を展開しています。

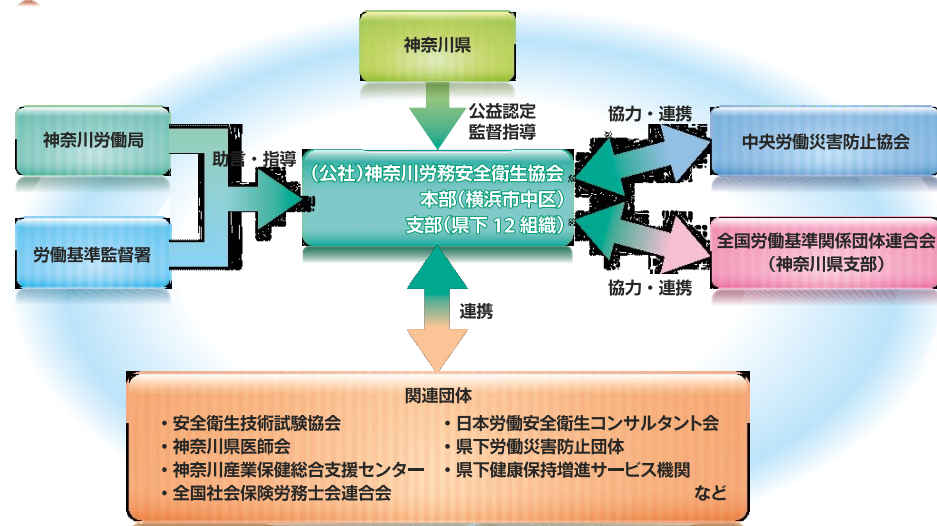
神奈川県下の会員事業場数は3,300会員、その従業員数は53万人（R6.4現在）で構成され、本部（横浜市中区）と県下12支部で事業を展開しています。

事業の目的は「神奈川県下の事業場における適正な労働条件の確保、労働災害の防止、健康保持増進のための活動を促進し、労働福祉の向上と産業の健全な発展に寄与すること」です。

安心・安全・健康な職場づくりの お手伝いをします

私たちは、産業や企業の健全な発展のためには、働く人々が安心して働ける雇用の安定や労働条件の確保、そして労働災害や健康障害が発生しない労働環境の形成や職場づくりが重要と考え、事業主と従業員の皆さんに役立つ情報の提供とお手伝いをしています。

関係機関との連携



主な本部活動 (神奈川県全域)

神奈川県労働局の登録教習機関として届出をした右頁の18科目の講習や養成講習、特別教育、また、以下のセミナー・研修会・諸行事を開催。

- ・神奈川労務安全衛生大会
- ・衛生管理担当者交流会
- ・安全衛生実務レベルアップ教育
- ・労働衛生工学講座
- ・安全衛生管理実践セミナー
- ・リスクアセスメント実務研修会
- ・総括安全衛生管理者セミナー
- ・各種専門委員会による労務安全衛生活動
- ・労務安全衛生管理夏季講座
- ・火災爆発災害防止講習会
- ・産業保健研修会
- ・人事・労務管理実践セミナー
- ・特別セミナー (改正労働関係法令等) など

主な支部活動 (神奈川県下12支部毎)

行政方針説明会など労働基準監督署との連携を図り、以下の講習・研修会・諸行事を開催。

- ・安全週間推進大会
- ・安全管理者選任時研修
- ・衛生推進者養成講習
- ・新入社員安全衛生教育
- ・労務管理研修会
- ・労働衛生週間推進大会
- ・安全衛生推進者養成講習
- ・職長教育
- ・経営者安全衛生セミナー
- ・リスクアセスメント講習 など



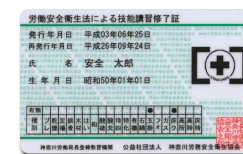
神奈川労務安全衛生協会は 登録教習機関です

18科目の届出講習

作業主任者 技能講習	・プレス機械 ・乾燥設備 ・足場の組立て等 ・建築物等の鉄骨の組立て等 ・木材加工用機械 ・はい ・鉛 ・酸素欠乏・硫化水素危険 ・特定化学物質及び四アルキル鉛等 ・有機溶剤 ・石綿
技能講習	・玉掛け ・ガス溶接 ・床上操作式クレーン運転 ・高所作業車運転
養成講習	・石綿含有事前調査者 ・安全衛生推進者 ・衛生推進者

特別教育、能力向上教育等

特別教育	・電気取扱業務 ・電気取扱業務（低圧） ・クレーンの運転の業務 ・研削といしりの取替え等の業務 ・アーク溶接等の業務 ・産業用ロボットの業務 ・第二種酸素欠乏危険作業 ・ダイオキシシン類作業 ・足場の組立て等作業 ・フルハーネス型墜落制止用器具を用いる業務 ・電気自動車等の整備の業務 ・テールゲートリフターの操作
能力向上 教育等	・衛生管理者 ・フォークリフト運転業務従事者
養成講習	・局所排気装置等定期自主検査者 ・化学物質管理者 ・保護具着用管理責任者 ・マスクフィットテスト実施者 ・安全管理者選任時 ・救急法（基礎＋短期）
免許取得 養成講習	・第一種衛生管理者 ・第二種衛生管理者 ・エックス線作業主任者



修了証見本



学科講習



酸欠作業主任者実技講習



ガス溶接実技講習



マスクフィットテスト実施者実技講習



玉掛け実技講習

令和7年度 神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 主要行事一覧表 (K6)

(公社)神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 (初版2024.9.24)

				支部役員会議		＜支部部会＞		講習会		オンライン講習会		(共) 共催講習会		新規講習会		産団連企画		＜本部関係＞		休業日		改訂:2025. 1. 20				
		4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		
1	火		木	(計画年休)	日		火		金		月	保護具着用管理責任者研修(2回目)	1	水	衛生管理者試験準備講習会	土		月		木	支部年末年始休暇		日		日	1
2	水		金	(計画年休)	月		水		土		火		2	木		日		火		金	月	＜衛生部会＞	月		2	
3	木	新入者教育(集合講習)	土	(憲法記念日)	火		木	(共) 衛生推進者養成講習(1回目)	日		水		3	金		月	(文化の日)	水	安全衛生推進者養成講習会(3回目)	土		火	職長 能力向上教育(2回目)	火		3
4	金	新入者教育(オンライン)	日	(みどりの日)	水	安全衛生推進者養成講習会(1回目)	金	役員会(第2回)	月		木		4	土		火		木		日		水		水	安全管理者選任時研修(3回目)	4
5	土		月	(こどもの日)	木		土		火		金	衛生週間大会(青色会館)	5	日		水	化学物質管理者研修(2回目) (衛生部会)	金	＜支部連絡会議＞	月		木	健康保持増進講習会ハイブリッド(2回目)	木		5
6	日		火	(振替休日)	金	安全週間大会(青色会館)	日		水	職長教育(2回目)	土		6	月		木		土		火		金		金	＜支部連絡会議＞	6
7	月		水		土		月		木		日		7	火		金	KYT基礎実践研修会(2回目)	日		水	粉じん(特)(2回目)	土		土		7
8	火	支部監査	木		日		火	KYT基礎実践研修会(1回目)	金		月		8	水	安全管理者選任時研修(2回目)	土		月		木		日		日		8
9	水		金	＜支部連絡会議＞	月		水	＜労務部会＞	土		火		9	木		日		火		金	安全衛生祈願・経営者セミナー	月		月		9
10	木		土		火		木	粉じん(特)(1回目)	日		水	全国産業安全衛生大会(大阪)	10	金	＜支部連絡会議＞	月	＜安全部会＞	水	テールゲートリフター特別教育(2回目)	土		火	＜労務部会＞	火		10
11	金	役員会(第1回)	日		水		金	＜支部連絡会議＞	月	(山の日)	木		11	土		火	危険体感研修(3回目)	木		日		水	(建国記念の日)	水	役員会(第5回)	11
12	土		月		木	安全管理者選任時研修(1回目) (企画部会)	土		火		金		12	日		水	[介護三の丸ホール]	金	＜広報部会＞	月	(成人の日)	木	職長教育(4回目)	木		12
13	日		火	化学物質管理者研修(1回目)	金	＜安全部会＞	日		水	支部夏季休暇	土		13	月	(スポーツの日)	木	リスクアセスメント研修(機械&化学 2回目)	土		火		金		金	＜広報部会＞	13
14	月		水	＜労務部会＞	土		月		木		日		14	火		金		日		水		土		土		14
15	火		木	支部だより201号発行	日		火	＜安全部会＞	金		月	(敬老の日)	15	水		土		月		木	玉掛け(特)(2回目)	日		日		15
16	水		金	第1回 産団連会議	月		水	支部だより202号発行	土		火	普通救命講習Ⅰ	16	木	支部だより203号発行	日		火		金		月		月		16
17	木		土		火	特化作業主任者技能講習	木	第2回 産団連会議	日		水	職長 能力向上教育(1回目)	17	金	＜安全部会＞	月	三役・部会長会議	水		土		火		火	(三役(担)会議)	17
18	金	定時総会(青色会館5階)	日		水		金	＜夏季講座＞	月		木		18	土		火	＜労務部会＞	木	保護具着用管理責任者研修(3回目)	日		水		水		18
19	土		月	＜衛生部会＞	木		土		火		金	＜広報部会＞	19	日		水		金		月		木	＜企画部会＞	木	KYT基礎実践研修会(3回目)	19
20	日		火		金	＜広報部会＞ (衛生部会)	日		水	フルハーネス特別教育(2回目)	土		20	月		木	＜企画部会＞ 職長教育(3回目)	土		火	有機溶剤教育(オンライン)(2回目)	金	第4回 産団連会議	金	(春分の日)	20
21	月		水		土		月	(海の日)	木	＜企画部会＞	日		21	火	第3回 産団連会議	金		日		水		土		土		21
22	火	フォーク(特)(1回目)	木	職長教育(1回目)	日		火	＜衛生部会＞	金	危険体感研修(2回目)	月		22	水	＜衛生部会＞	土		月		木		日		日		22
23	水		金		月		水	玉掛け(特)(1回目)	土		火	(秋分の日)	23	木	フルハーネス特別教育(3回目)	日	(勤労感謝の日)	火	クレーン(特)(2回目)	金	役員会(第4回)・部会合同研修会	月	(天皇誕生日)	月		23
24	木	産団連監査(理事会)	土		火		木		日		水		24	金	＜神奈川大会＞	月	(振替休日)	水		土		火		火	騒音障害管理者特別教育(2回目)	24
25	金		日		水	クレーン(特)(1回目)	金	テールゲートリフター特別教育(1回目)	月		木	安全衛生推進者養成講習会(2回目)	25	土		火		木	フルハーネス特別教育(4回目)	日		水	危険体感研修(4回目)	水		25
26	土		月	有機溶剤教育(オンライン)(1回目)	木		土		火	騒音障害管理者特別教育(1回目)	金		26	日		水		金		月		木	＜理事会＞	木	保護具着用管理責任者研修(4回目)	26
27	日		火		金	保護具着用管理責任者研修(1回目) (労務部会)	日		水		土		27	月		木		土		火	支部だより204号発行	金		金		27
28	月		水	＜本部総会＞	土		月		木	届出手続き講習会(オンデマンド)	日		28	火	健康保持増進講習会ハイブリッド(1回目)	金	役員会(第3回)	日		水	(共) 衛生推進者養成講習(2回目)	土		土		28
29	火	(昭和の日)	木	フルハーネス特別教育(1回目)	日		火	リスクアセスメント研修(機械&化学 1回目)	金		月		29	水		土		月		木	＜安全部会＞			日		29
30	水	(計画年休)	金	＜安全部会＞	月	危険体感研修(1回目)	水		土		火	交通KYT研修会	30	木	フォーク(特)(2回目)	日		火		金	支部年末年始休暇			月	フルハーネス特別教育(5回目)	30
31			土				水	研削といし(特)	日				31	金	＜労務部会＞			水		土				火		31

大分類		講 習 名	年間 実施回数	実施月度
法令講習	雇い入れ時講習	1 新入者教育(リアル)	1	4月
		2 新入者教育(オンライン)	1	4月
	管理者 養成講習	3 職長教育	4	5, 8, 11, 2月
		4 職長の能力向上教育	2	9, 2月
		5 安全管理者選任時研修	3	6, 10, 3月
		6 安全衛生推進者養成講習会	3	6, 9, 12月
		7 衛生推進者養成講習	2	7, 1月
	特別教育 (技能講習)	8 フルハーネス特別教育	5	5, 8, 10, 12, 3月
		9 化学物質管理者選任研修 (取り扱い事業所対象)	2	5, 11月
		10 保護具着用管理責任者選任研修	4	6, 9, 12, 3月
		11 フォーク 特別教育	2	4, 10月
		12 クレーン 特別教育	2	6, 12月
		13 玉掛け 特別教育	2	7, 1月
		14 研削といし 特別教育	1	7月
		15 粉じん 特別教育	2	7, 1月
		16 テールゲートリフター 特別講習	2	7, 12月
		17 騒音障害管理者 特別教育	2	8, 3月
		18 有機溶剤従事者安全衛生教育(オンライン)	2	5, 1月
		19 特化作業主任者 技能講習(地域講習)	1	6月
教育講習	教育講習	20 リスクアセスメント研修(機械&化学)	2	7, 11月
		21 KYT基礎実践研修会	3	7, 11, 3月
		22 交通KYT研修会	1	9月
		23 危険体感研修	4	6, 8, 11, 2月
		24 衛生管理者試験準備講習会	1	10月
		25 健康保持増進講習会(リアル&オンライン)	2	11, 2月
		26 届出手続き講習会(オンデマンド)	1	8月～
		27 普通救命講習 I	1	9月

合計 58 回

様式ー1

・太ワクの中を記入願います。

提出日 年 月 日

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会

小田原 支部殿

入 会 届

入会希望日 年 月 日

フリガナ			社 印	主たる事業内容	
事業場名					
所在地	〒		従業員数		
			男	女	計
代表者	役 職		フリガナ 氏 名		
	電 話		FAX		
窓口担当者 (労安担当者)	部署		フリガナ 氏 名		
	メール:				
講習会申込等 実務担当者	部署		フリガナ 氏 名		
	メール:				
諸案内送付方法 (どちらかに ☒)		メール ☐		FAX ☐	

・以下は記入しないで下さい。

支 部 記 入	※ 会 員 番 号	※業種コード	※入力日	※ 承 認 印
			/	
※ 備 考				

※ 入会届は以下の住所に郵送願います。

郵送先 〒250-0012 小田原市本町 2-3-24 青色会館2階 電話 0465-24-1753

ご記入いただいた情報は、当協会が責任を持って管理し、講習会案内その他各種情報をお知らせするために利用するもので、その他の目的で利用することはありません。

付録 2

会 費 に 関 す る 細 則

第 1 条 会員の会費（公益社団法人神奈川労務安全衛生協会（本部）費を含む）として、3 条の区分による金額を毎年 6 月末までに納入する。

第 2 条 公益社団法人神奈川労務安全衛生協会（本部）費は本会費より支出納入する。

第 3 条 本会費は次のとおりとする。

従 業 員 数	年 額（円）
10 以下	8, 000
11 ～ 20	10, 000
21 ～ 50	13, 000
51 ～ 100	17, 000
101 ～ 150	22, 500
151 ～ 200	28, 000
201 ～ 250	33, 500
251 ～ 300	39, 000
301 ～ 350	44, 500
351 ～ 400	50, 000
401 ～ 450	55, 000
451 ～ 500	61, 000
501 ～ 600	67, 000
601 ～ 700	73, 000
701 ～ 800	79, 000
801 ～ 900	85, 000
901 ～ 1, 000	91, 000
1, 001 ～ 1, 500	115, 000
1, 501 ～ 2, 000	135, 000
2, 001 ～ 2, 500	155, 000
2, 501 ～ 3, 000	175, 000
3, 001 ～ 4, 000	195, 000
4, 001 以上	215, 000